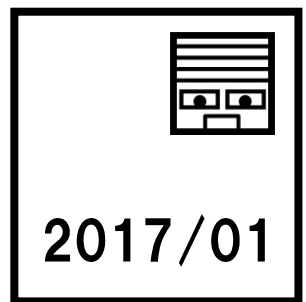




神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
 全国有数の〈社史コレクション〉を
 さらに活用していただくため、
 社史の使い方や、社史の楽しさ、
 社史情報などをお届けしていきます。



今年は何年です。「社楽」では毎年、干支にちなんだ社史を新年に紹介しています。ただし調査がうまくいかない動物も多く、蛇（挫折）、馬（25号）、羊（37号）、猿（挫折）となっています。今年には社史で鶏のマーク（社章などを含む）を調べてみました。どうなるでしょうか。

出版社の雄鶏社は、社名もマークも鶏です。『雄鶏社50年のあゆみ』（1995年刊）によると、同社は終戦直後に創業し、世界の文化を伝える「雄鶏通信」という薄い雑誌を刊行したそうです。誌名の由来について「雄鶏は元氣よく黎明のときを告

げ、風見鶏は世界の動向に忠実な指示者の象徴である」と、創業者・武内俊三の講演録に掲載されていました。

出版社では白水社も鶏がマークで、社史の背にも描かれていましたが、当館所蔵の社史では由来の記述を探せませんでした。

ホームセンターのコメリも鶏がマークです。『米利創業30周年』（1982年刊）には「にわとり」・「鶏」小国」というページがあり、詳しく説明されています。鶏にもいろいろな品種がありますが、コメリの鶏は「小国」という種類だそうで「その姿の勇美さ、その体の強健さ、長鳴性、

未来を予知する能力、且つ多産、それにもまして「正告」とも「正刻」とも書ける時を告げるに正確さ第一」などの特性をあげ、「大衆と、ホームセンターの内容とが、マークを通じて、集約一体化なされた時、他社とは比較にならない程の力を発揮し、ダイナミックな精彩を放つことができると確信する」としています。

インスタントラーメンの明星食品も鶏のマークです。『めんづくり味づくり 明星食品30年の歩み』（1986年刊）によると、鶏などをスープの材料とした1960年に発売の「明星味付ラーメン」のパッケージが元になっているようなのですが、社のマークとなった詳しい経緯の記載は見つけられませんでした。

（裏面につづく）

謹賀新年

酉の社史

(表面からつづく)

蚊取り線香などでおなじみの金鳥のマークは、1909年に商標を出願し、翌年に登録されました。『金鳥の百年』(1988年刊)から、鶏の由来に関する部分を引用します。

「史記・蘇秦伝の一節「鶏口となるも牛後となる勿れ」は、創業者・上山英一郎自身の信条であり、愛する日本への激励の意を含んでいると言える。自社のブランドは「金鳥」である。牛後となることのない、鶏口でなければならぬとの思いであったに違いない。業界の創始者として今も最先端を行く者の自負もあつたろう。今後も常にトップメーカーであり続け、品質、信用、経営のどの角度から見てもナンバーワンであり続けると言う決意でもある。また、鶏は世界中どの国でもいる。朝には時を告げ、卵を産んで人びとの暮らしに役立っている。自社の商品も、世界中で親しまれ、愛され、人びとの健康に役立ちたい。小さな島国であるが故に、祖国日本の在り方も、同じことではなかるうか。」と記されていました。

最後に、手羽先の居酒屋「世界の山ちゃん」を展開するエスワイフフードも鶏と関わりの深い会社です。『三十一年史』(2012年刊)によると、鶏に扮した山ちゃんのキャラクターは、もともとは創業者(山本重雄)が名刺の裏に印刷していた似顔絵で、店舗の看板などに使っていました。また、社内行事として、年に一度、鶏供養(名古屋地区、関東地区)をしているそうです。ちなみに関東進出第1号店は、川崎砂子店(2003年開店)です。

社史室ではもつと多くの鶏に出会えそうです。(科学情報課・高田)

優秀会社史賞、発表！

日本経営史研究所による優秀会社史賞が去年の11月に発表されました。隔年で実施し、第20回を迎えます。今回の受賞は、次のとおりでした。

【優秀会社史賞】

『挑戦の70年、そして未来へ キヤノン70年史』(2012年刊)

『住友金属鉱山社史』(2015年刊)

『東洋紡百三十年史』(2015年刊)

【特別賞作品】

『国分三百年史』(2015年刊)

『希望の共有をめざして セーレン経営史』(2015年刊)

この賞の傾向として、詳細で、やや硬めな内容の社史が選考されているように思えます。上記、いずれも所蔵しています。是非、社史室をご覧ください。

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話：044-233-4537 FAX：044-210-1146

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>